

家保通信

Vol. 39 No. 6 9月号
東京都家畜保健衛生所

令和7年8月27日

かほクイズ

9月20日から26日は何の週間でしょう？

- ①愛鳥週間
- ②動物愛護週間
- ③アレルギー週間

答えは裏面



高病原性鳥インフルエンザのシーズンが迫ってきています！

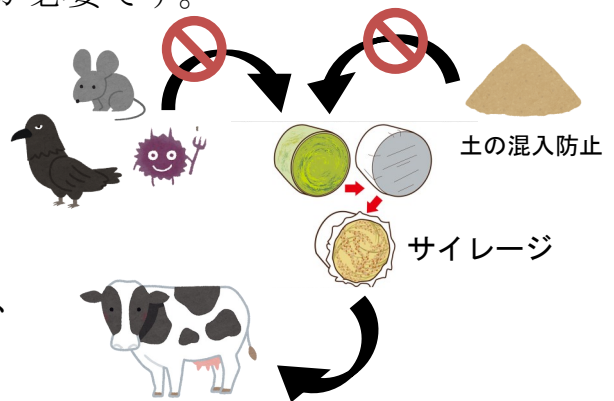
昨シーズンの初発事例は野鳥で9月30日に確認されています。今一度、農場の飼養衛生管理状況の確認をお願いします。シーズン前に、家きん舎の定期点検を実施し、防鳥ネットや壁等の破損をすぐに修繕しましょう。また、屋根等の目の届きにくい場所にも野生動物が入らないよう対策が必要です。家きんの健康観察を毎日行い、異状が確認されましたら当所までご連絡ください。



牛ボツリヌス症に注意しましょう

牛ボツリヌス症は、ボツリヌス菌が作る神経毒素による中毒で、菌に汚染された飼料や変敗サイレージを牛が摂取することによって発症します。症状として起立不能、流涎(よだれ)、舌麻痺(舌を出したままの状態)、食欲不振、呼吸困難等があり、多数の牛が短期間に死亡することもあります。治療法はなく、被害拡大防止のため、**感染源の特定、徹底的な洗浄・消毒**が必要です。

ボツリヌス菌は土壌で長期間存在し、酸素がない環境などの条件がそろえると毒素を産生します。対策として**野鳥・野生動物の侵入防止対策、サイレージの適切な調整・管理、ワクチンによる予防**があります。本症を疑う症状がありましたら、当所までご連絡ください。



福岡県で野生いのししの豚熱感染が確認されました

8月19日に福岡県久留米市で県内初となる野生いのししの豚熱感染が確認されました。一方で、豚熱陽性いのししの死体が、敷料として利用する粃殻(もみがら)の集積場所から発見され、さらに当該粃殻が豚飼養農場に持ち込まれていたという事例が他県で確認されています。粃殻等の敷料は野生動物の誘因になることに留意し、敷料の適正な管理をお願いします。

- ①敷料等保管場所への**野生動物侵入防止対策**を図る。
- ②敷料を農場に搬入する際は外部との**交差汚染、野生動物による汚染**に注意する。
- ③敷料の集積場所や保管場所で野生動物の侵入痕跡を見つけた場合は、敷料の**搬入を中止し、農場内の消毒**を実施する。



ワクモ対策をしましょう

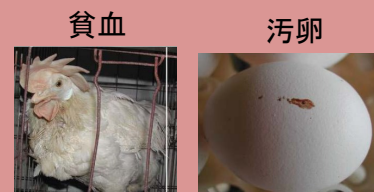
ワクモは鳥類に寄生して吸血する、1 mm程度の大きさのダニです。主に夜間に吸血し、昼間は物陰や隙間に身を隠しています。ワクモは薬剤に対して耐性をもつこともあるため、複数の対策を組み合わせ、効率的に駆除しましょう。



(農研機構HPより引用)

ワクモによる被害

- ・貧血、嗜眠（強い刺激がないと寝続ける）状態、死亡
- ・産卵率低下
- ・ワクモの付着による汚卵の発生
- ・作業者に対するアレルギー症状、不快感



(日本養鶏協会より引用)

対策方法

①空舎時のラック・コンテナの高温加熱処理による洗浄と殺虫剤散布

成ダニは65℃以上の温水がかかると死亡します。また、ワクモは無吸血状態だと殺虫剤に対する抵抗性が弱くなります。空舎期間に有機リン系、カーバメート系、ピレスロイド系等の殺虫剤や、エトキサゾール製剤等の殺ダニ剤を用いると効果的に駆除できます。

②環境制御資材（シリカ、珪藻土）

シリカや珪藻土を水で希釈して散布すると、硬い粒子が物理的にワクモの体節や関節を傷つけます。さらにシリカや珪藻土の高い吸水性能により、傷からワクモの体液を奪い、脱水症状にして活動を停止させます。

③段ボールをワクモトラップとして利用

暗い隙間を作り、効率的にワクモを捕獲します。段ボールは定期的に取り換えましょう。



段ボール片内に集まったワクモ集塊（黒点）



段ボール片の設置状況



伝染性乳房炎浸潤状況及び搾乳衛生状況の調査を実施します

今年度から都の事業として伝染性乳房炎の原因菌浸潤状況と搾乳衛生状況調査のための検査を実施します。検査は東京都酪農業協同組合の協力のもと、バルク乳を用いて検査を行います。実施時期は9月中旬を予定しています。この機会に搾乳機械、作業などの見直しをしてみましょう。

クイズの答え：②

動物の愛護と適正な飼養についての関心と理解を深めるようにするため、毎年9月20日から26日までを動物愛護週間としています。期間中は関連イベントが全国各地で行われています。家畜も動物愛護に配慮して飼養しましょう。

発行日 令和7年8月27日

編集発行  東京都家畜保健衛生所

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/animal/kaho/>

〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町
大字平井2759

TEL : 042-588-7171

携帯: 090-6941-4315 (緊急用)

